Ohwa & Co.
應和監査法人 agn INTERNATIONAL

共創から自分を変えていく

Total Service for Clients

應和監査法人　採用案内

MESSAGE
代表のメッセージ

会計監査を通じて、企業の健全な成長をサポートする

「公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与する（公認会計士法1条）」。

應和監査法人ではこの公認会計士の使命を法人理念とし、業務を通じ、企業の健全な成長をサポートしたいと考えています。

そのため、形式的なマニュアルで企業の会計帳簿をチェックし、ただ批判的に監査をするのではなく、『マクロに物事の事実関係を適切に把握すること』そして『「指導的機能」と「批判的機能」の2つを両輪として監査を実施すること』を大切にしています。

事実関係を適切に把握し、指導性と批判性を発揮するためには、どんな能力が大切でしょうか？ 確かに、公認会計士という資格や会計・監査の知識も大切かもしれません。しかし、私たちはそういった形式的なものではなく「コミュニケーション能力」をもっとも大切にしています。

例えば、監査基準等で求められている「経営者ディスカッション」。このディスカッションでは、経営者と対等に会話し事実関係を把握する能力が必要になりますし、会話の中で不正や誤謬の兆候を感じる場面もあります。時には社長に厳しく「No」を伝える事も必要で、こういった対応が企業不正へのけん制にもなると思います。また、法人内でも個人ではなくチームで仕事をするためチームプレーという意味でもコミュニケーションをとても大切にしています。

このような理念や考え方のもと應和監査法人は多種多様なバックグラウンドを有した仲間とともにこの数年間大きく成長しています。「業務を通じて、クライアントの成長をサポートしたい」「そして、業務を通じて、資格にとらわれることなく、自分をスキルアップさせたい」という想いが品質を維持しつつ、良い形で成長できていると感じています。

そうはいってもまだまだ成長過程です。皆様にも是非仲間になってもらい、一緒に成長していくことが出来ればと思っています。

総括代表社員　澤田昌輝

VOICES

01

マネージャー（公認会計士）

Yutaka Moroda

諸田 豊

「マネージャーの視点から見た應和の1年間」

私はマネージャーとして上場会社と任意監査の主査を担当しています。当法人の監査を大きく分けると、金融商品取引法監査・会社法監査を軸とする法定監査と、株式公開（IPO）準備監査を軸とする任意監査のサービスラインに分けられます。

法定監査のサービスラインにおいて3月決算のクライアントだと、7月が監査業務の一年間のスタートとなります。年間の監査計画の立案に始まり四半期レビュー、上期下期の内部統制の検証、期末残高監査・計算書類等や有価証券報告書のチェックといった流れで6月下旬の株主総会が一つの区切りとなり、1年が終わります。

一方で、ある程度年間スケジュールや実施事項が決まっている法定監査とは対照的に、任意監査である株式公開（IPO）準備監査が並行して動いています。株式公開を目指す会社は短期調査や期首残高調査を行った後、直前々期の監査を実施していきます。上場企業の定型化された監査とは異なり、コミュニケーションやテクニカルな面でも臨機応変な対応が必要であり、非常にやりがいのある業務です。

当法人ではどのサービスラインでも、往査の前には必ずチームでミーティングを実施し、トピックスや重点項目、情報の共有、チームの課題、前回の反省点などについて話合い、チームとしてより高いパフォーマンスを発揮できるように心がけています。

一年のスケジュール（3月決算の会社を前提） 法定監査　株式公開（IPO）準備監査　その他

3月　4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

- 実査・立会、確認状の発送
- 期末残高監査（上場企業）
- 期末残高監査/計算書類等や有報証券報告書のチェック
- 監査計画
- 第一四半期レビュー
- 夏季休暇（一週間半～二週間程度）
- 内部統制監査/短期調査・期首残高調査
- 第二四半期レビュー
- 内部統制監査/短期調査・期首残高調査
- 冬季休暇（一週間程度）
- 第三四半期レビュー
- 下期内部統制/短期調査・期首残高調査

VOICES

02

スタッフ（3年目・公認会計士試験合格者）

Teruaki Tadakoshi

只腰輝明

「やりがいを感じる 應和の株式公開（IPO） 準備監査」

当法人は、株式公開（IPO）準備監査に注力しており、一昨年度クライアントがマザーズ市場に上場したことを皮切りに現在でも複数の案件が進行しています。

私が初めて株式公開（IPO）準備監査に携わったのは入社して3ヵ月目で、株式上場を検討する企業が上場に向けての課題を洗い出す短期調査でした。その時の私は、株式公開（IPO）準備監査業務のイメージが出来ておらず、ただ先輩方がクライアントへヒアリングしている会話に耳を傾けているだけでした。短時間で多い情報がやり取りされるため、1日が終わった時にはすごく疲れたのを覚えています。しかし、クライアントの上場に向けた熱意や真剣さに触れることができ、とても良い経験をさせて頂いたと思っています。

株式公開を目指している会社は内部統制等が整備されていない会社が多く、また、税法をベースとした税務会計から企業会計への転換が必要です。通常の上場企業の監査と比較し大変なことが多いですが、企業のあるべき姿を模索していく仕事であり、そこにやりがいや面白さを感じています。

当法人は、日々学ぶ機会に恵まれ、監査業務等の経験豊富な先輩方の指導を身近に受けることが出来ます。学びながら実践し、実践しながら学べる環境のため、会計士として力をつけたいと思っている方や熱意のある方にとって、当法人は良き場であると思います。

VOICES

03

スタッフ（1年目・公認会計士試験合格者）

Atsushi Narita

成田篤史

「應和に入所して 感じること」

当法人を選んだ理由は、面接のときの対応や雰囲気がよく、ここでこの方々と働きたいと思ったからです。

当法人は40名弱の組織のため、風通しがいいというのが入所してからの印象です。業務執行社員の方々に直接指導いただくこともあり、わからないことがあれば、直ぐにいろいろな方に質問をすることができる環境です。そのため、早くから成長できる法人だと思います。

また、当法人の監査アソシエイトは、ビジネスマナーやパソコンスキルなど社会人に必要なスキルを高度に身につけているため、“社会人になる”とはなにかを考えるきっかけとなり、自分の成長につながっています。

私は公認会計士試験に合格後すぐに入所したため、社会人経験はありませんでした。人としてもまだまだ未熟であり、入所してからたくさんの方にお叱り・励ましの言葉を頂きました。できて当たり前なはずのことができず悔しいこともありましたが、毎日自分が成長できている実感があります。入所してまだ数ヶ月しか経っていませんが、当法人に入所してよかったと日々感じています。

1日の流れ ［クライアント往査］

9:25	9:30	9:40	12:00	13:00	17:45	18:00
クライアント本社1階で待ち合わせ	メールチェック	クライアント担当者への質問、監査調書作成	往査先の近くでランチ	会社資料の閲覧、データ分析	進捗の整理、監査チームでのミーティング	帰宅

VOICES

04

監査アソシエイト（1年目）

Sonoko Miyazaki

宮崎園子

「應和は切磋琢磨して学べる環境」

「アソシエイト」という職名ですが、監査チームのメンバーの一員として現場へ往査し、実際に担当科目を割り当てられる等、様々な業務を行っています。また、アソシエイト研修を毎月2回実施しており、会計はもちろん、監査について学んでいきます。

監査アソシエイトは全員が簿記資格を取得していて、公認会計士や中小企業診断士を目指す者も在籍し、お互い切磋琢磨しながら、仕事に邁進しています。また、監査アソシエイトは20代女性が多く、和気あいあいとしています。

当法人は40名弱のため、メンバー同士の距離が近く、温かく風通しが良いなというのが入所してからの印象です。また、様々な規模や業種のクライアント、経営層と自身が直接関わることができます。当法人の職員は、クライアントに対しても、そして業務においても真剣に責任を持って向き合っていると、日々感じています。海外子会社のあるクライアントとのやり取りも刺激的で楽しいです。会計はもちろんですが、組織や経営、新たなものとの出会いに関心がある方には、様々な経験ができる環境が整っていると感じます。

まだまだわからないことばかりですが、プロフェッショナルファームの職員として、励んでいきたいです。

1日の流れ ［事務所勤務］

- 9:15 出社後 メールチェック
- 10:00 往査時の調書作成の続きなどの調書フォロー
- 12:00 事務所でお弁当または、事務所の近くでランチ
- 13:00 往査資料の準備、担当科目の予習など
- 16:00 確認状など、書類の整理
- 17:45 帰宅

VOICES

05

監査アソシエイト（2年目）

Madoka Aono

青野まどか

「應和に入所してから1年経過して感じること」

社会人になってからの一年間は全てが新しい経験ばかりであり、専門的な知識はもちろん、マナーや言葉遣いなど社会人としての振る舞いをたくさん学び、新鮮であっという間でした。

当法人に入所したばかりの頃は右も左もわからず、毎日が手探りの状態でした。クライアントに一歩入れば、「監査人」として認識され、先輩方の仕事の丁寧さと効率の良さ、さらにたくさん勉強をされているからこそのプライドを見て、そんな人たちと働ける喜びを感じたと同時に、自分の監査人としての自覚の低さと力不足を痛感しました。そんな私を気にかけた先輩方は、質問しやすい環境を作ってくださり、そのおかげでチームとのコミュニケーションがとりやすくなりました。そしてそこから、仕事に対する姿勢をたくさん学ぶことができ、私が行った業務に対して「ありがとう」と言われる度にやりがいを感じ、励みになります。

今でも「予定通りにできなかった」と反省することが多々ありますが、限られた時間の中で自分の出来ることを探し、試行錯誤する毎日が、忙しくも充実していると改めて感じています。私は2年目となるため、今まで先輩方から教わったことと、自分がこの一年間で感じた反省点を活かして、チームに貢献していくことはもちろん、後輩から頼れる存在となるために自己研鑽を積んで行こうと思います。

さらに当法人では8年でアソシエイト、シニアアソシエイト、スーパーバイザーという職階でキャリアを積めるため、今後は小規模な会社のチームリーダーになることを目標に、今できることを全力で行います。

FUTURE
應和監査法人の特徴

株式公開準備監査（IPO）に注力

人事部　兼
株式公開準備部　社員　**堀 友善**

当法人の特徴としては、株式公開（IPO）に注力していることがあげられます。

IPOについては2020年にクライアントがマザーズ市場に上場したことを皮切りに、現在でも複数の株式公開（IPO）案件に関与している状況です。法定監査と並行し、一年を通して株式公開（IPO）案件が複数走っている状況です。

上場を目指す会社は内部統制・経理体制が未完成なことが多く、今後、構築を目指す状態であるため、質問や相談を受ける機会も上場会社に比べれば多く、監査人として『指導的機能』を発揮する機会が多々あります。

正直なところ、上場会社の監査と比較すると大変なことも多いですが、会社の成長を直接サポートすることになりますので、達成感や充実感を大いに感じられる仕事です。こういった株式公開（IPO）案件に入所してすぐに携わることができるというのが、当法人の魅力の一つです。

入所まもない人であれば、会社の内部統制・経理体制が未熟な株式公開（IPO）準備監査において、上場会社の監査とは違い何もできないかもしれません。しかし、まずは雰囲気、作業内容はもちろん、『批判的機能』にも増して、『指導的機能』が非常に重要であること等を感じて、上場会社の監査→株式公開（IPO）準備監査→上場会社の監査を繰り返すことは、当該経験をせず上場会社の監査を行っていくことに比べて、必ず成長につながると考えています。そのため、株式公開（IPO）準備案件に新人を問わず積極的に関わってもらっています。

株式公開（IPO）準備監査を通じて、監査法人でしか経験できないやりがい、達成感を味わい、自分自身としての成長を実感しませんか。（入所3年目のスタッフが株式公開に携わった実体験を「Voice02」P.4に記載しています。）

先進的な應和のIT技術

情報通信技術（ICT）部
マネージャー
濵﨑 光（左）

情報通信技術（ICT）部
馬場祐一（中央）

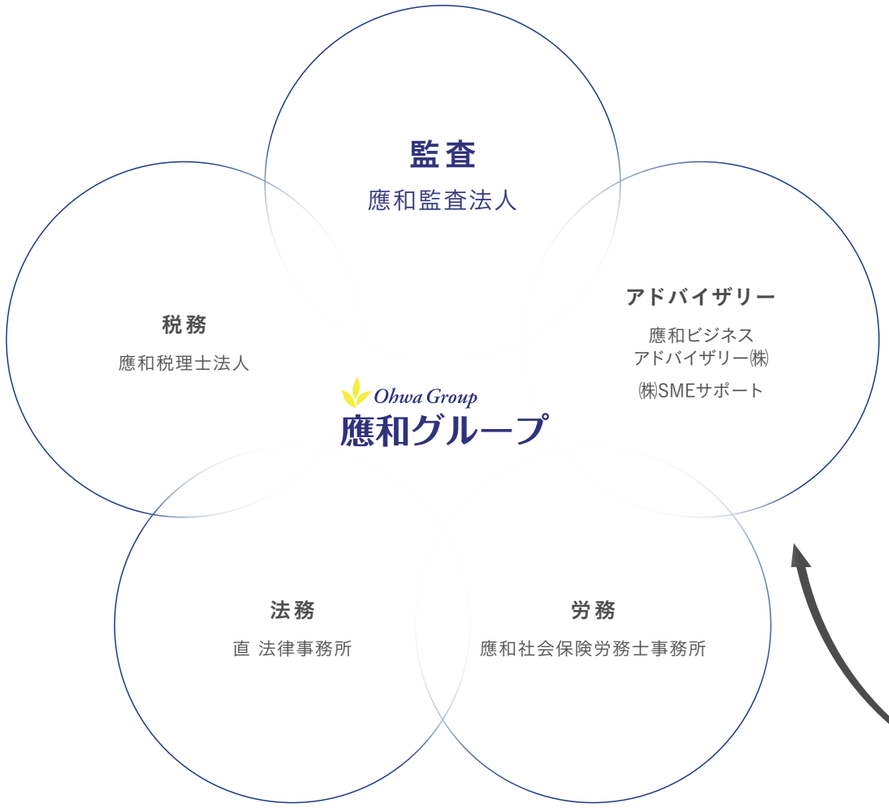
情報通信技術（ICT）部
杉山和哉（右）

当法人の監査は、クラウドサービスや監査ツールなど、専門性が必要なIT技術を使用しています。IT分野の専門人材からなる情報通信技術（ICT）部を設けることで、トラブルや不安を解決出来る体制を整えています。これは、この規模の監査法人としては例が少なく、先進的な取り組みだと考えています。

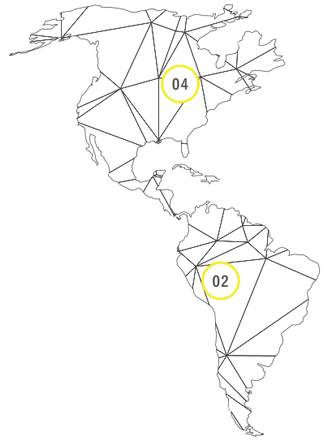
当法人のさらなる品質管理向上のため、ICT部はパソコンやスマートフォン等のトラブル、監査ツールの使い方等のサポート、職員の情報セキュリティの意識向上を図ったセキュリティ研修だけでなく、システム監査も担当しています。中でもシステム監査は、監査業務に携わることで現場の要求をキャッチアップし、業務効率向上を図っています。

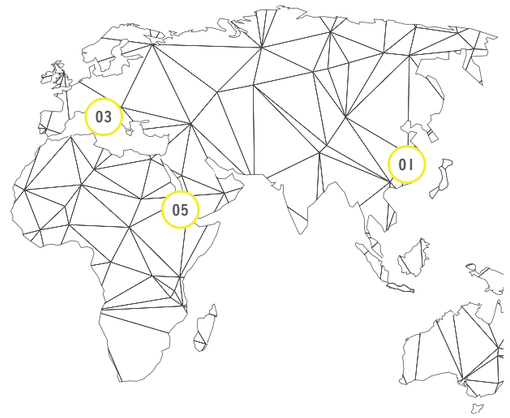
また、会計監査はもともと紙の書類が多い業界ですが、当法人ではペーパーレス化を推進しています。そのため現在は、監査ツールの導入として、監査調書の電子化に取り組んでいます。こうした取り組みは、監査のコストと労力の削減、書類の保存場所も不要にし、作業スピードアップに貢献しています。

今後はAIを利用した文字認識（OCR）を適用し、紙で提供された資料の電子化だけでなく、クライアントから提出されたデータの分析を実施し、監査に生かすツールやシステムを導入することも計画しています。



グローバルサービスの
共同提供
ナレッジの共有





01. アジア・パシフィック地区
オーストラリア・バングラデシュ・中国・香港・インド・インドネシア・日本・韓国・マレーシア・シンガポール・ベトナム・タイ・台湾 and more...

02. 中南米地区
アルゼンチン・ボリビア・チリ・パナマ・ブラジル・ペルー・ベネズエラ and more...

03. 欧州地区
ベルギー・オランダ・チェコ・ノルウェー・デンマーク・ポーランド・フランス・ドイツ・イタリア・ポルトガル・アイルランド・ギリシャ・イギリス・スペイン・ロシア・スウェーデン・スイス and more...

04. 北米地区
アメリカ・カナダ・メキシコ

05. 西アジア・アフリカ地区
アフガニスタン・エジプト・イスラエル・ヨルダン・イラン・クウェート・カタール・サウジアラビア・南アフリカ・スリランカ・シリア・タンザニア and more...

AGN International

AGN International は、世界各国の専門家とスタッフによって、グローバルに「監査」「税務」「アドバイザリー」の各種サービスを提供しています。

世界の加盟事務所は、定期的な地域会議と世界会議でFace to Faceのコミュニケーションを取り各地域・各国の情報交換、情報共有をおこなっています。

私たち應和グループは、アジア・パシフィック地区のメンバーとして参画しています。アジア・パシフィック地区は、経済成長が著しく、国内外からの投資活動も盛んであり、世界的にも重要な地域となっています。これからアジア地域を始め各国への展開をお考えのお客様に対しては、私たちが主導し、AGN Internationalのメンバーと協調し支援しています。

PHILOSOPHY

應和グループについて

應和グループは、“監査(Assurance)” “税務(Tax)” “アドバイザリー(Advisory)” “法務(Legal)” “労務(Human Resources)”の連携および国際業務はAGN Internationalと連携することにより、クライアントへ「トータルサービス」をワンストップで提供しています。企業が誕生し、成長する過程で直面する様々な問題や課題に対して支援や助言を行います。

應和監査法人

應和監査法人では、単なる数値のチェックにとどまることなく、「経営者との対話」を通じて、クライアントに関する理解やクライアントの抱える課題を共有し、これらに対処するための指導助言を積極的に行い、適正な財務報告の作成やガバナンスの向上に寄与していくことを理念とし監査業務を提供しています。クライアントのニーズや課題を的確に把握した上でグループ内で連携し、グループの総合力を活用しながら、柔軟にきめ細かくタイムリーに対応しています。

應和税理士法人

お客様からの質問に対する回答を行うだけでなく、日常のコミュニケーションからお客様のニーズを探し出し、課題を解決するような提案を心がけています。

また、株式上場を目指すようなベンチャー企業への支援、日本に進出した外資系企業への税務・会計のアドバイスなど、幅広い業務を行っています。

事業承継や株式の価値を算定する場合には、企業が継続的な成長を続けられるような配慮を加えたサポートを目指しています。

應和ビジネス アドバイザリー株式会社

クライアントの頼れる“ビジネスパートナー”として、業種、規模、国内海外を問わず企業の各ステージで解決しなければならない課題、例えば創業期の会社設立、経営計画策定、成長期以降の社内管理体制構築、株式公開準備、事業承継、M&Aや組織再編などに対し、単なる提案のみではなく、クライアントと共に目的達成に向けて行動しています。

株式会社SMEサポート

社名のSMEはSmall and Medium-sized Enterprise の略であり、中堅・中小企業およびベンチャー企業の財務を中心とした経営サポートを行っています。

30年以上にわたり、大手金融機関で培ってきた経験と多様なネットワークで、経営戦略、ビジネスマッチング、事業継承、ファイナンシャルアドバイス等親身で適切な助言を行い、経営者の良き相談相手となりたいと思っています。

弁護士法人 直 法律事務所

企業法務を専門としており、経営者が直面する会計・税務・人事労務面だけでなく、コンプライアンス体制構築、機関設計、各種の契約案件など様々な企業の運営に関わる法的な課題や疑問に対して、分かり易い説明で、タイムリーに的確な支援や助言を行い、企業の柔軟かつ適切な対応をサポートしています。

また、企業法務の他、不動産法務や税務争訟相談や相続・遺言執行関連の各種相談にも応じています。

應和社会保険労務士事務所

労働保険、社会保険に関する相談手続きから見えてくる労働問題を専門家の視点からいち早く見つけ、単なる手続きにとどまらない会社に寄り添ったサービスを提供いたします。

また、クライアントのパートナーとして企業経営の中で毎日のように発生する様々な人事や労務の課題を解決していくことにより「企業の事業の発展や経営理念の実現」「働く人々の幸福と生活の安定」の支援を行います。

企業の成長

應和グループの主なサービス

設立

- ▮ 設立全般のアドバイス
- ▮ 設立時の各種届出書類作成支援
- ▮ 外国企業の日本法人設立支援
- ▮ 機関、組織設計に関する助言
- ▮ 人事労務制度策定及び運用支援
- ▮ 資金繰り及び資金調達に関する支援
  - ・資金繰り全般に関する助言
  - ・資金繰り表作成支援
  - ・資金調達に必要な経営計画等の作成支援
- ▮ 会計、税務関連サービス
  - ・帳簿記帳代行
  - ・税務申告書作成代行
  - ・節税に関する助言

管理

- ▮ ガバナンス、内部管理体制の整備運用に関する支援
  - ・ガバナンスの見直し、持株会社体制への移行に関する一連の助言
  - ・規程類の策定支援
  - ・内部管理体制の構築支援
    - ○各種業務フローのリスクポイントの洗い出し
    - ○チェック体制の見直しなど
  - ・各種業務フローのシステム化に関する助言
  - ・年度予算、中長期計画の策定支援

株式公開

- ▮ 株式公開支援
  - ・関連当事者取引の見直しに関する助言
  - ・資本政策に関する助言
  - ・コンプライアンス体制の整備運用に関する支援
  - ・会計方針の見直しに関する助言
  - ・税法基準に基づく会計処理の見直し
  - ・未適用となっている本来適用すべき会計基準の適用など
  - ・月次決算体制の整備運用支援
  - ・四半期、年度決算のディスクロージャー体制の整備運用支援
  - ・決算早期化のための具体的手法の助言
  - ・公開申請書類の作成支援
- ▮ 会計監査の実施
  - ・任意監査、会社法監査、金商法監査

事業拡大

- ▮ 海外進出支援(AGNネットワークを活用)
  - ・現地法人の設立支援
  - ・現地法人の記帳及び税務申告代行
  - ・現地法人の内部管理体制構築支援
  - ・移転価格税制や現地税制に関する助言
- ▮ 国際財務報告基準(IFRS)関連サービス
  - ・同業他社等のIFRS適用済み企業の情報収集、分析
  - ・IFRS適用時の影響度調査(ギャップ分析)
  - ・IFRS適用プロジェクト管理支援
  - ・諸規程、マニュアル等作成支援
  - ・研修会の実施
- ▮ グループ再編、M&A関連サービス
  - ・スキーム検討支援
  - ・ファイナンシャルアドバイザリー(FA)業務
  - ・各種デューデリジェンス(財務、法務、ビジネス等)
  - ・バリュエーション
  - ・株式売買契約締結に関する助言
  - ・買収後の統合プロジェクト管理支援
  - ・企業再編税制への対応に関する助言
  - ・新規事業の事業計画に関する助言

撤退

- ▮ 業務改善、リストラクチャリング関連サービス
  - ・事業の再生、撤退の検討に関する助言
  - ・関連事業等に係る財務デューデリジェンス
  - ・再生計画策定、金融機関との交渉支援
  - ・業務効率化に関する助言
- ▮ 事業承継、相続関連サービス
  - ・事業承継スキーム検討支援
  - ・相続税に関する助言
  - ・相続税申告代行

※應和グループの各法人はすべて独立した法人であり、公認会計士法上のネットワークファームではありません。
また、應和グループは、AGN Internationalに加盟する独立したメンバーファームです。

Ohwa & Co.
應和監査法人

應和監査法人

〒102-0074　東京都千代田区九段南四丁目8番13号
自動車会館ビル2階
tel: 03-3222-6025　fax: 03-3222-6116
e-mail: info@ohwa-audit.co.jp

監査法人リクルートサイト
http://recruit.ohwa-audit.co.jp

グループ法人

應和税理士法人
〒102-0074　東京都千代田区九段南
四丁目8番13号　自動車会館ビル2階
tel: 03-3222-6027　fax: 03-6261-4451
e-mail: info@ohwa-tax.or.jp

應和社会保険労務士事務所
〒102-0074　東京都千代田区九段南
四丁目8番13号　自動車会館ビル2階
tel: 03-3222-6027
e-mail: ohwa-hr@ohwa-tax.or.jp

應和ビジネスアドバイザリー株式会社
〒102-0074　東京都千代田区九段南
四丁目8番13号　自動車会館ビル2階
tel: 03-6261-3610
e-mail: info@ohwa-ba.co.jp

弁護士法人　直 法律事務所
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4
砂防会館別館B棟5階
tel: 03-6256-8925　fax: 03-6256-8926
URL: https://nao-lawoffice.jp/

株式会社SMEサポート
〒102-0074　東京都千代田区九段南
四丁目8番13号　自動車会館ビル2階
tel: 03-6261-3610

www.ohwa-audit.co.jp